



岡田 美喜子
(新未来21)



快適空間指定区域の指定喫煙所の取り組み

◎ 三島駅南口東街区の喫煙所は、子どもたちや市民が往来する道路脇に位置している。受動喫煙に配慮すべきと考えるが対応を伺う。

▲ 三島駅南口東街区再開発の開発区域となっていることから、工事着手において、撤去しなければならぬため、今後の対応としては、移設等の可能性調査を行うとともに、人工樹木型のパーテーション等の設置により、たばこの煙や臭いの低減対策等を検討する。



安心安全なまちづくり地方再犯防止推進計画

◎ 初犯者数が大幅に減少し、再犯者数は横ばいであることから、再犯を防止することが重要な課題である。計画策定に対する考えを伺う。

▲ 本市を含め県内では、まだ、ほとんどの市町が計画を策定していない状況である。現在、防犯対策の推進を図っているところであるが、再犯防止の計画策定についても、その有効性や既存の計画に含めることも視野に入れ、研究をしているところである。



大石 一太郎
(改革みしま)



西間門新谷線の整備状況と周辺部土地利用は

◎ 県施工となった西間門新谷線の国道136号交差点工事は、県と市で補助申請することで補助増額と工期短縮を図れないか。

▲ 令和2年12月から静岡県へ事業協力の要望を重ね、令和4年4月に県から国道136号の交差点部を事業化すると回答を受けた。これにより、西間門新谷線と国道136号が別事業となるため、市の支出が大幅に縮減されるとともに、事業の促進が図られ、事業期間の短縮に繋がるものと考えている。

事業用定期借地権用地の貸付と施設整備内容

◎ 東街区の市有地を定期借地権用地で貸し付けるが、駅前の顔が東も西もホテルとなり、広域健康医療拠点として、地域活性化に繋がるのか。

▲ ホテルに加え、商業施設や健康医療機能などで、複合的な機能を集積することで、立地特性等を踏まえたにぎわいの創出や地域活性化につながる事業になると考えている。市民の皆様にご喜んでもいただける事業となるよう事業関係者との協議を行っていく。



他の質問事項
市営住宅の高齢化対策と空き施設利用



河野 月江
(日本共産党議員団)



三島駅南口東街区再開発事業における市民共有財産のゆくえ

◎ 事業協力を募集する際の市有地価格について、20年間一度の不動産鑑定もかけずに、15万4千円/mに設定した根拠を伺う。

▲ 事業協力を募集時の土地価格は、不動産鑑定士への聞き取りや事業化に向けて作成したモデル権利変換計画等により、公示地価の約50%を価格の目安として設定した経過がある。あくまで提案を求めるにあたっての設定値であることについてご留意いただきたい。

◎ 令和3年に準備組合が補助金を使い鑑定した市有地の価格が、事業協力の提案書における価格とほぼ同額であることへの見解を伺う。

▲ 事業協力を募集時の土地価格は、事業提案を求めため、公示地価等に基づき概算的に設定したものである。準備組合による不動産鑑定とは算出の過程が異なることから、結果を比較するものではないと考えている。



他の質問事項
市有地の権利変換に係る議会の議決の必要性



堀江 和雄
(公明)



選ばれる街・稼げるまちづくりのために

◎ 三島市の産業構造や地域経済の現状を分析し、マクロ的な視点からエビデンスに基づいた政策決定が必要だがどのように取り組むか。

▲ ささまざまな統計データを活用した現状分析を行っているが、EBPMというエビデンスに基づいた政策立案の手法を推進するため、令和3年度からデータ分析を学ぶ職員研修を実施しており、デジタル化に合わせて効果的なデータ活用を日常業務に取り入れていく。

市営住宅の維持管理と藤代住宅の建て替え

◎ ファシリティアマネジメント・三島市公営住宅等長寿命化計画における市営住宅の集約化に伴う藤代住宅S棟・N棟の位置付けと今後を伺う。

▲ 市営住宅は三島市公共施設等総合管理計画と整合させた三島市公営住宅等長寿命化計画に基づき管理している。この中で藤代住宅S棟・N棟は建替えの判定がされたため、統合・廃止の判定がされた山田住宅D棟との長期的な管理を考慮し、統合計画を進めている。



古長谷 稔
(無会派)



三島駅南口東街区再開発の課題

◎ コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による資材費高騰等が本事業に与える影響は、三島市民や地権者に今後どのような負担となるか。

▲ 年度末にかけて進められた*ECI方式による事業者選定でも事業計画の工事費に近い数字が提示されている。工事費の大幅な増加は、事業取上の課題となるため、施設計画の見直しを行うなど、事業計画の金額での事業推進に注力していくものと考えている。
*ECI方式：プロジェクトの設計段階から施工者の技術力を設計内容に反映させ、コスト削減や工期短縮を目的とする契約方式。

災害時避難行動要支援者の個別支援計画作成

◎ 課題である避難支援者欄を埋めるために、組単位の地図で、向こう二軒両隣を目安に、支援者を線で囲んで提出する新提案はいかがか。

▲ 個別避難計画は、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするために作成するものである。議員提案の手法は、地域で話し合いを行い、複数人で対象者の避難支援を行う仕組みで、実効性のある有効な計画だと思われるため、未作成の自治会に対し紹介していきたい。



中村 仁
(緑水会)



豊岡市長が信じる三島が誇る無二無三の魅力

◎ 子育て支援や住みやすさ、自然、交通の利便性等、全国で同様な目標を同様に複数掲げては独自性に欠ける。私達の1番の宝物とは何か。

▲ 「自然豊かな住環境」や「住みやすさ」、「交通の利便性」など、三島の魅力は数多くあるが、とりわけ市民の宝物、富士山の恵みである「湧き水」や「せせらぎなどの水辺環境」、「市民の皆様への郷土愛」は当市の代表的な地域資源であると考えている。

小中学校1人1台タブレットとコンピュータ

◎ コンピュータ整備事業は毎年2億円弱、タブレットは初年度7億円強で毎年2億円弱が必要。工夫し減額する必要性とその意志は。

▲ 今後は、1人1台端末を最大限活用する前提で、各校のパソコン教室の端末の更新を見送る。また各教室に設置している電子黒板について、当面は修繕により更新を先送りする等の対応により、削減可能な機器を精査し、適切な事業費の執行に努める。



他の質問事項
三島市正職員と会計年度任用職員の待遇格差